

学生ニュース

窓 第4号

発行日 平成20年12月
 久留米市上津町2228-66 広報課
 TEL (0942)22-2345 (代表)
 FAX (0942)21-8770
<http://www.kurume-it.ac.jp>



トピックス

「フューチャードリーム！
 ロボメカ・デザインコンペ2008」の
 第一次審査をパス！

機械システム工学科
 情報ネットワーク工学科

機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門主催の「フューチャードリーム！ロボメカ・デザインコンペ2008」に参加した本学の「H2TFチーム（谷川慎君、平嶋希望君、畑山良太君（機械システム工学科）植野真美子君（情報ネットワーク工学科）、指導：白石准教授）が見事一次審査をパスしました。

エントリーした九州の11大学中パスしたのは5大学で初挑戦での快挙に学長からも「学生のレベルの高い企画力が評価されて大変良かった。このテーマも含めさらに向上を目指して頑張るように」との激励を寄せられました。

メンバーの1人、平嶋君は、「今回、ロボメカデザインコンペに参加して、『実際に社会の役に立つものを考えるには、世の中のニーズにいつも気をつけていなければならないこと、さらにそれに技術を加えることの難しさ』に気づくことができました。また、学科の垣根をこえて、学生同士が協力することで、それぞれの得意分野も生かすことができたと思います。指導していただいた先生から「できない」理由でなく「できる」理由を見つけなさい、と常に言われています。まだまだ、未熟な私たちですが、今できることを精一杯やってゆこうと思います。」と意気込みを語ってくれました。



学生活動

ソーラーカー部、HONDA 主催の エコノパワー燃費競技大会にて優勝！

機械システム工学科 2年 毛利部 達也
(筑前高等学校)

ソーラーカーレース部は、去る 2008 年 7 月 27 日、HSR 九州（熊本県）で行われた HONDA 主催の「エコノパワーレース」というエコロジーを考えた燃費競技大会に参加しました。『たった 1 L のガソリンでどれだけの距離を走れるか』という地球環境を考えたこの大会で、全国より 100 校近くが参加する中、優勝を飾ることが出来ました。走行距離は、なんと 600 km。福岡～鹿児島間をたった 1 L で往復出来る航続距離です。ガソリンが秘めるこの無限とも思える可能性を研究し、近い未来枯渇すると言われている化石燃料を有効に使っていきけるよう、微力ながら社会に役立てられるよう研鑽していきます。また、これからは車体だけでなく運転する者として燃費を考えた走り方も同時に研究していきたいと考えています。このような有意義で貴重な体験と研究の場を与えて下さった久留米工業大学に深く感謝致します。



江藤久留米市長の公約（マニフェスト） 4 項目検証結果発表会に参加

建築・設備工学科 4年 林 宗祐
(祐誠高等学校)

10月22日久留米青年会議所主催で大学生や高校生が江藤守国市長のマニフェスト（政策目標を具体的に示した公約）を検証した結果を発表するイベント「久留米ば良かまちにするばい！ マニフェスト編」（会場：市民会館）が行われ、本学からは建築・設備工学科 4年の林 宗祐君が参加、市長の公約についての検証結果の報告をしました。林君は、「僕達学生が市長のマニフェストに直接触れる機会などほとんど今までにない事で、このような公の場で自分の意見を述べる事ができたことは自分にとってとても貴重な経験でした。今後もこのようなすばらしい企画をもっと増やしてもらい、評論だけではなく、学生が自由に提言・提案できる場にしてほしい。また、僕達学生は、もっと積極的にこのような会に参加し、自分の意見を述べ



ることを経験し、自らの糧にしていければいいと感じました。」と感想を述べています。

林君は、「久留米学生まちづくり集団」の代表もつとめており、これまでも久留米のまちをローソクの光りで照らす「ほとめきクリスマスキャンドルナイト」を企画するなど久留米市の街づくりに若者のアイデアを発信し続けています。



九州ゲーム企画塾へ 2 組採択されました

情報ネットワーク工学科

九州経済産業局主催「九州ゲーム企画塾」が開催され本学から応募した 2 組計 6 名の学生が企画塾に参加することになりました。この企画塾は未来のゲームクリエイターを育てる事を目的に開催されるもので、ゲーム開発の初動となるプランニングを軸とした、ゲーム創りのノウハウを第一線で活躍するゲームクリエイターから習得することができます。これから 15 回の講義を受け、成果発表を行うことになっています。

参加している矢野君は「現在、企画塾では「面白そうな企画書を書く」ことを目標に講義を受けています。「面白」企画書ではなく「面白そうな企画書」を書くというのは意外と難しいことですが、将来、業界でクリエイターとしてバリバリ活躍できるように頑張っている」そうです。久留米工業大学から次代のゲームクリエイターが誕生するかもしれません！

採択者：矢野 大幾（祐誠）、鍋田 拓朗（祐誠）、緒方 裕規（祐誠）、山崎 大也（伊万里）、野瀬 慎太郎（鳥栖工業）、山田 大介（祐誠）



ロボットハンドの製作

機械システム工学科 1年 大本 佳佑
(三原東高等学校)

私達「ロボットを作ってみよう会（仮称）」では、アルミ材の加工に慣れロボットの動きを学ぶために、4 本指ロボットハンドを試作してみました（写真）。このロボットハンドは、手のひら上のサーボモータを糸で引っ張ることにより、それぞれの指を動かす仕組みになっています。試行錯誤の末やっとロボットの形が出来上がったときは充実感でいっぱいでした。今後、さらに加工を施し、立派なロボットハンドとして完成するよう力を注ぎたいと思っています。



第11回福岡県環境教育学会で 今春の卒業生が研究発表

環境共生工学科 学科長 蓮山 寛機

地球温暖化や異常気象など、環境問題は大きな話題になっています。8月3日（日）に「福岡県環境教育学会」が飯塚市で開かれ、本学科から今春卒業した木塚達也君（現：佐賀大学大学院）と古閑千冬さん（現：不二ライトメタル㈱）が卒業研究で得られた成果について発表しました。いずれも環境浄化に関するもので、木塚君：「イオンビーム蒸着法による環境浄化薄膜の作製」、古閑さん：「酸化チタン薄膜の光触媒効果とその評価」です。この学会は小学校から大学までのすべての教育機関を含めたものですから、多くの高校生も参加し、発表や質問も活発でした。発表後、二人は出席者からの多くの質問にも適切に応答し、有意義な学会発表となりました。



就職

機械システム工学科の就職指導

機械システム工学科では早い時期から現場社会へ目を向け、社会人となることへの意識付けをさせています。その一環として一般的な就職セミナーだけでなく、機械展示会や企業フェアなどに参加し、現場の話を直接聞かせて頂く場を設けています。これらの会に参加することで、企業がどういうモノを創り、どういう仕事をしているかを直接現場の方々から話を聞くことができます。また、企業人と直接話をすることで就職試験の面接時の気持ちの準備にもなります。

今後も会がある毎に続けて行くことにしています。

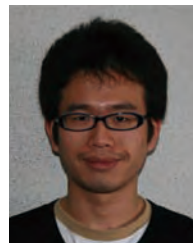


就職活動報告 ～スズキ株式会社

交通機械工学科 4年 宮崎 真吾
（佐世保北高等学校）

私は、10月中旬にスズキ株式会社の内定を頂きました。採用試験は作文1時間、技術部の方2名との面接、人事部の方1名との面接がありました。有名企業の採用試験だけあり、入社に対する意志の強さを鋭く聞かれました。それでも臆することなく、一言一句に魂を

込めて答えることができたのが、最大の強みだったと思います。後輩のみなさんには、ぜひ明確な信念を持って就職活動をしていただきたいと思います。



授業紹介

教育創造工学科 「授業観察」実施

教育創造工学科では、将来理数系の教員を目指す学生が多く学んでいます。

去る10月8日青陵中学校（下坂章次校長）へ『授業観察』に行きました。これは理数系教員の育成プログラムの一貫として実施している学外実習の一つで、『授業観察』を通して、教育現場を垣間見、教員になる意識を高めるために行われるものであります。

観察実施前に、岩切教授より本実習の目的、観察参加者の心得等について詳しく説明と講義を受けました。その後、校長先生、教頭先生からガイダンスがあり、当校は「活用力」、「国際社会の中で」ということを念頭に教育計画を立てている旨説明があり、普段どりのありのままを見て欲しいとのことでありました。

授業は5校時の技術または数学、6校時の理科の授業をそれぞれを観察しました。担当の先生はいろいろ工夫され、授業の充実、生徒の理解が深まるよう努められていました。観察した学生は熱心に見入り、メモを取っていました。

観察後、校長先生から教師になる心構え、特に「体力をつけること」、「読書等を通じて広く知識を身に付けること」等のお話を伺いました。良い教師になるようにと暖かいエールも頂戴しました。学生にとっては得がたい体験だったと思われます。

今後とも機会を見つけてはこのような体験をさせて、教師になるという意識の向上の一助にしたいと考えています。

早く観察を引き受けて頂いた、青陵中学校の先生方、生徒の皆さん、有難うございました。篤く御礼を申し上げます。なお、この訪問については青陵中学校のホームページに好意的に掲載されています。



交通機械工学実験（CAD演習）

交通機械工学科 3年 山下 彬
（福岡工業高等学校）

今年9月に422教室にCADソフト「Solid Works」が導入されました。交通機械工学科では、工学実験の中でこのソフトを使用してCADの実技が行われています。「Solid Works」は、2次元と3次元のCADが統合されており、私たちが設計した製品をコンピューターの画面で立体的に確認することができます。また、歯車の動きやエンジンの動きなどもシミュレーションすることができます。卒業研究でも「Solid Works」を使用して、色々な研究に役立てたいと楽しみにしています。



産学連携

地域企業のみなさんとの連携

機械システム工学科

本学では、機械システム工学科の先生方と福岡県中小企業家同友会「久留米 GIEMON 小屋」との交流会を定期的に行っています。「GIEMON 小屋」とは、久留米地域の30社以上のさまざまな企業の社長が集まって、新しい産業の種を見つけ、育ててゆこうとする集まりで、本学との連携に大きな期待を寄せてくれています。これは本学学生においても生きた社会勉強をする、貴重な体験になるものと思っています。11月初めには、第2回産学交流会を行いました。本学からは、機械システム工学科の学生5名、および情報ネットワーク工学科、環境共生工学科の先生方9名が参加しました。参加した学生は、会議の席上で「企業の方と直接話し合いが持てると、モチベーションが上がってやる気がでます。これからこのような機会が、もっとほしいと思います」と話していました。今後は、地域を活性化するための共同研究などを、多くの学生のみなさんの若い活力や新鮮なアイデアで進めてゆく予定です。



入試日程

AO(アドミッションズ・オフィス)入試

エントリー申込期間	9月1日(月)～3月25日(水)
出願日・面接日	エントリー受付後、入試担当者が出願に向けて相談を受けます。その後、出願日程、面接日を決定します。
合格発表	面接試験終了後後日通知
試験地	本学

推薦入試

■ 中期推薦入試

出願期間	12月1日(月)～12月17日(水)
試験日	12月20日(土)
合格発表	12月25日(木)
試験地	本学

■ 後期推薦入試

出願期間	1月5日(月)～1月19日(月)
試験日	1月21日(水)
合格発表	1月24日(土)
試験地	本学

一般入試

■ 前期一般入試

出願期間	1月5日(月)～1月28日(水)
試験日	2月2日(月)・2月3日(火)
└─ 試験日自由選択制 ─┐	
合格発表	2月7日(土)

試験地	2月2日	福岡・長崎・大分・熊本・宮崎・ 鹿児島・那覇・松山・広島・大阪
	2月3日	本学のみ

新入生スカラーシップ

スカラー A (試験成績の80%以上を獲得した者)
前期授業料免除

スカラー B (試験成績の60%以上を獲得した者)
前期授業料の半額免除

■ 中期一般入試

出願期間	2月16日(月)～3月10日(火)
試験日	3月12日(木)
合格発表	3月14日(土)
試験地	本学

■ 後期一般入試

出願期間	3月16日(月)～3月23日(月)
試験日	3月25日(水)
合格発表	3月26日(木)
試験地	本学

センター入試

■ センター利用前期入試

出願期間	1月5日(月)～2月6日(金)
合格発表	2月14日(土)

■ センター利用後期入試

出願期間	2月16日(月)～3月9日(月)
合格発表	3月14日(土)



久留米工業大学のモバイルサイト(携帯版)からも資料請求ができます。左のQRコードからアクセスしてご覧ください。